

ミラノ国際博覧会日本館への展示協力

当財団は、経済産業省、ジェトロ等からの協力要請を受けて、本年5月1日に開幕したミラノ国際博覧会日本館のシーンⅢに展示物を提供しています。

「地球に食料を、生命にエネルギーを」というミラノ万博のテーマに日本館はどんな回答を提示するのか、そのカギとなる展示がシーンⅢイノベーション（Innovation）であり、「フューチャー・グローブ・ステージ（Future Globe Stage）」と「触れる地球（Interactive Globe）」の2つのゾーンで構成されています。

世界の食糧に関し、飢える開発途上国の一方で、先進国では飽食と食料の浪費という不均衡な地球的課題と日本が示す多くのソリューションを来館者に理解しやすいかたちで提示しようとするものです。

大型スクリーンの「フューチャー・グローブ・ステージ（Future Globe Stage）」では、モリゾー・キッコロ等の様々なキャラクターが登場し、地球が抱える課題に対する日本の数々のソリューションを情緒的なストーリーに織り交ぜて、アニメでわかりやすく紹介しています。

また、日本の伝統の知恵と最新技術によって具体的にどのように解決していくか、多くのソリューションを「触れる地球（Interactive Globe）」という装置を活用して、来館者に理解できるかたちで提示しています。

日本館シーンⅢイノベーション【展示空間イメージ】



空間イメージ 現代の地球が抱える様々な問題を可視化し、課題解決に向けた日本の最先端の技術開発や国際貢献の取り組みを未来ビジョンと共に紹介するフューチャーラボ空間



実際の来場写真